

別記様式第1号（第4条関係）

木津川市子ども・子育て会議 開催結果要旨

会 議 名	令和3年度第4回木津川市子ども・子育て会議		
日 時	令和4年2月22日 午後2時00分～午後3時00分	場 所	木津川市役所 5階全員協議会室
出 席 者	委 員	15人	
	その他出席者	なし	傍聴人の数 4人
	庶 務	こども宝課	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 木津川市公立幼稚園再編実施計画（案）のパブリックコメント実施結果について（報告）【資料1】</p> <p>(2) 公立幼稚園3歳児保育及び預かり保育事業について【資料2】</p> <p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1 開会</p> <p>司会進行により開会。事務局より会議成立要件定足数の報告。（市長あいさつは割愛）</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>安藤会長より、本日の会議録の署名委員について、会長のほか谷原委員を会長から指名された。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 木津川市公立幼稚園再編実施計画（案）のパブリックコメント実施結果について、資料1に基づき報告及び説明。</p> <p>(2) 公立幼稚園3歳児保育及び預かり保育事業について、資料2に基づき説明。</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木津川市子育てイベントの開催について、資料に基づき説明 ・保育所等における新型コロナウイルスによる休園状況について、資料に基づき報告。 <p>4 閉会</p>		

会議経過要旨

1 開会

事務局より、司会進行・開会。市長あいさつ及び各委員紹介は、新型コロナウイルス感染症対策により短時間での会議を執り行うため、割愛させていただく旨のお詫びと、会議成立要件定足数の報告。

子ども・子育て会議は、地方自治法、木津川市子ども・子育て会議条例を設置根拠として設置される市の附属機関である旨等説明。

2 会長あいさつ

本日は木津川市公立幼稚園再編実施計画（案）のパブリックコメント実施結果報告と公立幼稚園3歳児保育及び預かり保育事業について、その他とあるが、コロナ等もあるが短時間で慎重にご審議いただきたい。

本日の会議録の署名委員については、谷原委員を指名する。

3 議事

主な意見・質疑等はつぎのとおり

(○：質疑・意見 ⇒：質疑に対する返答)

(1) 木津川市公立幼稚園再編実施計画（案）のパブリックコメント実施結果について（報告）【資料1】

〈資料1〉に基づいて説明。

【質問・意見】

○入園在園保証について、高の原地域の子どもを受け入れる検討はされているかという部分は、愛光兜台こども園と高の原幼稚園とは近隣なので、愛光兜台こども園では3～5歳児1号認定の定員は15人であるが、申込みがあれば優先枠を設けることは可能である。面積基準があるので大幅に増やすのは出来ないが、高の原幼稚園を希望されている方を優先することはできる。保育園枠もあるので、どこまで増やせるか検討する余地はあるが可能である。

⇒前向きにご検討いただけること、安心している。計画策定後、具体的な実施段階となれば協議をさせていただきたい。高の原幼稚園3歳児新規募集は20人、計画策定されると来年度は募集停止となるので、本年度と同じ定員枠であれば、20人を近接する園で受入れとなるが、その時々保護者の方の意向をお聞きしながら愛光兜台こども園様にもご協力いただけたらとありがたく思っている。以前、相楽台保育園が愛光兜台こども園との統廃合に向けた中でも、園児との交流があったり入所や転園の加点調整を行ったりした。幼稚園の場合は利用調整の制度がないが、法人様と協議させていただく中で保護者ニーズを掴

んだうえでの取り組みを進めてまいりたい。

○1号認定が無かった時代だが、長い間1つの幼稚園の中で幼稚園・保育園の先生たちとの繋がりも全部含めて、どのように運営していけばよいか非常に苦労していたのを目の当たりにしていた。認定こども園化に関する検討の経験がないので、場の設定をしながら市としてどのような方向に進めたら認定こども園化がスムーズに進むのか検討が必要だとおもう。平成30年度に愛光兜台こども園に移行したノウハウがあると思うので、それを踏まえて検討いただければ保護者の方にもご理解いただけるのではと思う。

⇒認定こども園化については、再編実施計画でも示している通り木津幼稚園・相楽幼稚園を認定こども園化することを案とさせていただいている。ただ、計画期間内5年間の中でこういった形で認定こども園化するのか先生方や保護者の方の動向を注視しながらより良い認定こども園化を目指したい。また、本市としては民営化等実施計画でも示しているいづみ保育園・やましる保育園を令和6年度に認定こども園化という計画の中では、幼稚園・保育園の人事交流を毎年しており、又研修を行いながら今後もますます先生方の教育内容・保育サービスが充実する体制となるよう考えている。

○相楽台保育園の時も、愛光兜台こども園とは職員の交流や子どもの交流はさせていただいていた。地域の子ども達と交流できるのは愛光兜台こども園の子ども達にとっても良いことなので、要望があればお手伝いさせていただきたい。

⇒相楽台保育園は以前、民営化等実施計画で統廃合の対象園であった際には、100人以上だった園児が30人まで減った経過があり、その中で愛光兜台こども園とは交流事業も行ってきた。民営化等実施計画変更により、一定期間延伸となった中で相楽台保育園は復元していったが、その過程の中で民間園との連携して行ってきた経過がある。今回も園児の状況や保護者の方のお話を聞く中で、ニーズに答えていくため手を携えながらよろしくお願ひしたい。

○この素案から本日のご意見も含め最終の回答となるよう事務局には整理をしていただきたい。

(2) 公立幼稚園3歳児保育及び預かり保育事業について

〈資料2〉に基づいて説明。

【質問・意見】

○保護者の方は週2回の11時30分降園を問題視されている。公務

	<p>員として研修の補償や子ども達の成長発達について、1人の子どもを園全体で見ようと幼稚園教育を進めてきた。11時30分降園が早いのは昔から聞いていた。子ども達が帰った後どのように過ごしているか、子どもがいないから遊んでいるのではないと丁寧に説明してきた。研修は非常に大事で、色々な子ども達に対して園全体でフォローしていこうと色々な研修をしている。11時30分降園は保護者の方には納得しにくい状況だが、(降園時間を)変えていく調整はされているのか。</p> <p>⇒今回の預かり保育サービスについては、降園時間を改善する内容となっている。研修や明日の準備等で降園後の時間は必要であるのご意見をいただいていた。ただ、パブリックコメントでも保護者説明でも多数降園時間の事でご意見をいただいた。今後認定こども園化の際に保育時間については検討していきたい。保育時間についても3歳児が弁当持参ということで、給食サービスも併せて検討が必要と考えているので、先生方と協議しながら検討していきたいと思う。</p> <p>平成30年から預かり保育をスタートしている中で、幼稚園の研修は非常に大事だと思っているが、今現在の研修の状況も含め谷原委員からお話いただければと思う。</p> <p>⇒半日保育の日は研修に充てている。支援の必要な子も多く、1人1人について話合える時間を持って、どの先生が入っても同じ対応ができるようにしていることや、山城教育局から依頼を受けた研修準備にも活用させてもらった。</p> <p>⇒このように各幼稚園の現場とこども宝課で状況把握をしながら、幼稚園教育を展開し、保護者の方の所要のニーズをつかみながら今後の幼稚園の教育体制について進めていきたい。</p> <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木津川市子育てイベントの開催について 〈木津川市子育てイベントの開催について 資料〉に基づき説明。 ・保育所等における新型コロナウイルスによる休園等の状況 〈厚生労働省資料〉に基づき休園等状況説明。 <p>【質問・意見】</p> <p>○なし</p> <p>4 閉会</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>特になし</p>

署名欄	木津川市子ども・子育て会議 会長 安藤 和彦
	木津川市子ども・子育て会議 委員 谷原 美紀